

第2学年1組 生活科学習指導案

令和7年10月31日(金) 第5校時

1 単元名 「つくってあそぼう うごくおもちゃ」(18時間)

2 単元について

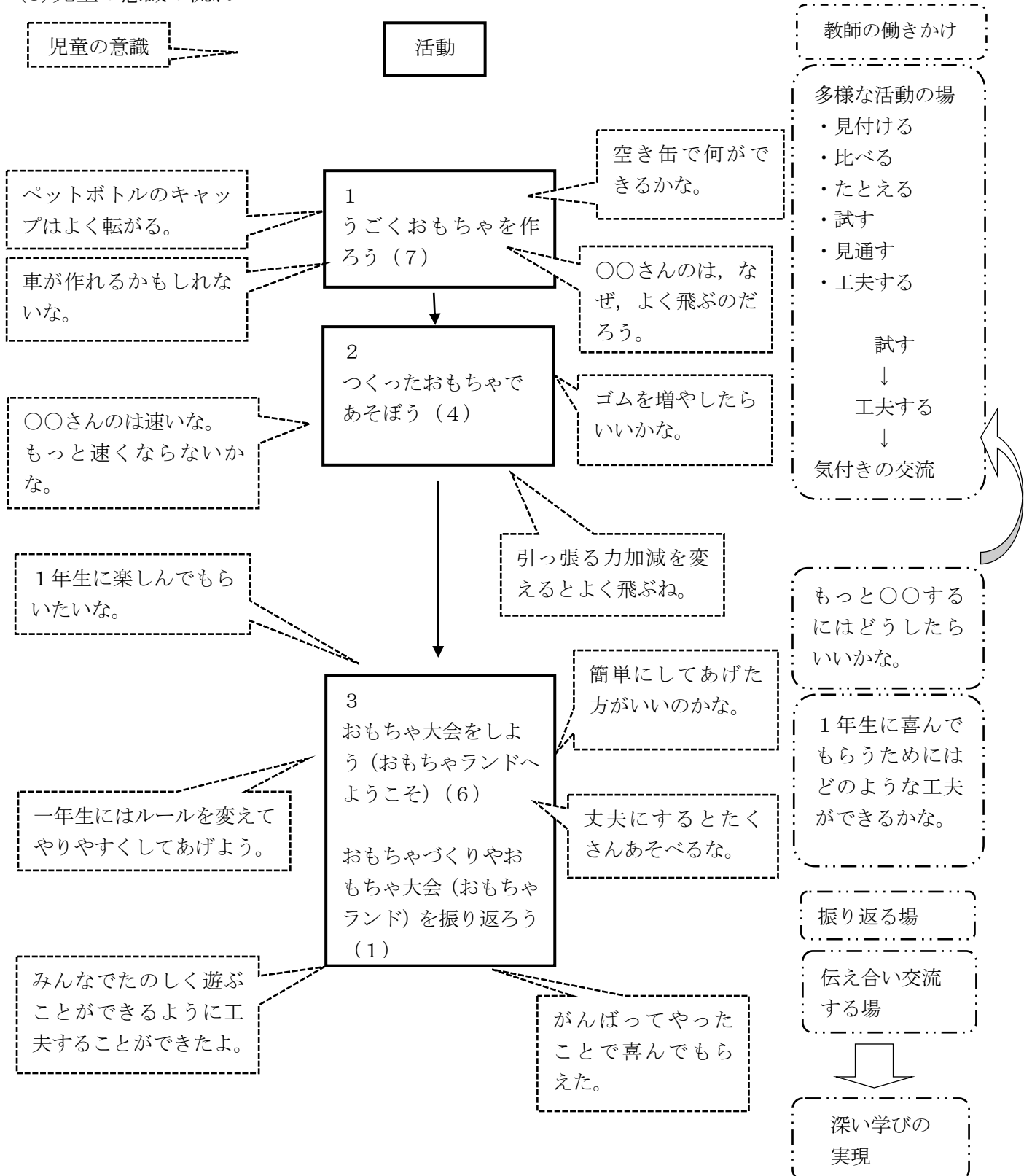
(1) 児童の実態について

※ 児童の実態は、当日配付いたします。

(2) 単元設定の趣旨と構成上の配慮

本単元は、学習指導要領の内容(6)「自然や物を使った遊び」を受けて設定したものである。第1学年「あきをたのしもう」では、素材そのものの特性を生かした遊びを通して、素材そのものへの気づきを意図した活動を行ってきた。第2学年の本単元で、児童は、自分達で動くおもちゃを作ること、身近にある物で動くおもちゃを作ることを通して、身近な物で遊べるということを知り、身の回りの自然物や身近な物への意識が広がる。そして、もっと楽しくなるように材料を組み合わせたり、粘り強く工夫を繰り返したりする中で、よりこだわりをもってそれらに関わろうとする力が育つと共に、動くおもちゃや材料の面白さ、不思議さへの気づきの質が高まっていく。さらに、学習後半のおもちゃ大会をしよう(おもちゃランドへようこそ)では、学習指導要領の内容(8)「生活や出来事の伝え合い」の要素が多い。1年生と一緒に楽しむ場を設けることで、学級みんなが協力し合いながら、より楽しくするための工夫を深めていくことができると考える。1年生のために自分たちで工夫の仕方を考え、楽しんだり喜んだりしてもらい、自分達の工夫が認められることで、その嬉しさや達成感を味わい、相手のことを思って、工夫することのよさを改めて感じられるようにしたい。

(3) 児童の意識の流れ



3 単元の目標

身近にある物を使って動くおもちゃをつくって遊ぶ活動を通して、試行錯誤を繰り返しながらおもちゃをつくったり遊び方を工夫したりすることができ、その面白さや不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出すことができるようにする。

4 単元の評価規準と小単元の評価規準(18時間扱い)

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の 評価規準		身近なものを利用しておもちゃを作る活動を通して、その動きの面白さや不思議さ、遊びに使うものをつくる面白さ、みんなで遊ぶ楽しさについて気付いている。	身近なものを利用しておもちゃを作る活動を通して、試行錯誤を繰り返しながら動くおもちゃを工夫してついたり、遊び方を工夫したりしている。	身近なものを利用しておもちゃを作る活動を通して、より滑らかな動きや上手な動きへの思いや願いをもち、おもちゃを改良しようとしている。また、おもちゃ大会に向けて、友達とのつながりを大切にし、よりよい遊びやルールを創り出そうとしている。
小単元 の 評価 規 準	1 うごく おもちゃ を作ろう (7)	① 身近にあるいろいろな材料の動きの特徴や面白さに気付いている。 ② 動くおもちゃについて、そのつくりを調整したり工夫したりすることによりよく動くことに気付いている。	① 身近にあるものの動きや動かし方を実際に確かめながら、それについて表現している。 ② 調べた動かし方をもとに、完成したおもちゃを思い描きながら設計図をかいている。 ③ 動くおもちゃについて友達と比べたり、試したりしながら、工夫してつくっている。	① 身近にあるものを利用した遊びやうごくおもちゃについて関心をもち、進んで調べようとしている。 ② 動くおもちゃについて関心をもち、道具や身近な材料などを準備して、自分でつくろうとしている。 ③ 自分なりに思いや願いをもち、改良しようとしている。
	2 作った おもちゃ であそぼう(4)	③ 動くおもちゃやみんなで遊ぶことについて、動きの面白さや不思議さ、友達と自分との違い、約束やルールが大切なことやそれを守って遊ぶことの楽しさに気付いている。	④ 動くおもちゃについて、楽しい遊び方を考えながら、それを絵や文で表現している。	④ おもちゃで遊ぶことについて、友達と関わったり、よりよい遊びやルールを創り出したりして、おもちゃを楽しくしようとしている。 ⑤ みんなと楽しく遊ぶために、道具や用具の片付け、掃除、整理整頓をしようとしている。
	3 おもちゃ 大会をしよう (おもちゃ ランド へようこそ) (7)	④ 動くおもちゃを使って遊ぶことについて、遊び方を工夫する楽しさ、約束やルールが大切なことやそれを守ってみるみんなで遊ぶことの楽しさに気付いている。	⑤ おもちゃ大会(おもちゃランド)に向けて、約束やルールを考えたり、遊びに来てくれた人に説明したり、おもちゃを改良したりしている。	⑥ おもちゃ大会(おもちゃランド)で異年齢の友達と関わったり、相手を尊重したりしながらみんなで楽しく遊ぼうとしている。

5 指導と評価の計画

小 単 元 名 (時数)	○主な学習活動	小単元の評価 規準との関連	評価規準から想定した具体的な子供の姿 (評価方法)
1 うごくお もちゃを 作ろう (7)	〔小単元の目標〕 動くおもちゃを自分で考え、つくったおもちゃで遊んだり、友達と比べたり工夫を教え合ったりしながら、よりよく動くように改良することを通して、動くおもちゃをつくることの面白さや、おもちゃの動きの不思議さに気付くことができる。 ○どんなことができそうか実際に材料に触りながらうごかし方を見つける。(2) ○見本のおもちゃや教科書、本を参考にして、おもちゃに必要な材料や道具を考えて設計図をかく。(1) ○設計図にかいたおもちゃを一人でつくる。(1) ○同じおもちゃの友達とグループになってつくり、遊んだり競争したりする。(2) ○友達と比べたり、工夫したところを教え合ったりして、試行錯誤しながら、さらに自分のおもちゃがよりよくなるようにする。(1)	知・技 ① 思・判・表 ① 態① 思・判・表 ② 態② 思・判・表 ③ 知・技 ② 態③ 態③	・身近にあるいろいろな材料の動きの特徴や面白さに気付いている。 (発言・つぶやき) ・身近にあるものの動きや動かし方を実際に確かめながら、それについて表現している。 (行動・発言) ・身近にあるものを利用した遊びやうごくおもちゃについて関心をもち、進んで調べようとしている。 (行動・つぶやき) ・調べた動かし方をもとに、完成したおもちゃを思い描きながら設計図をかいている。 (行動・カード) ・動くおもちゃについて関心をもち、道具や身近な材料などを準備して、自分でつくろうとしている。 (行動) ・動くおもちゃについて友達と比べたり、試したりしながら、工夫してつくっている。 (行動・カード・つぶやき) ・友達と教え合うことで、自分の考えたおもちゃのよさや友達のよさに気付いている。 (発言・つぶやき・相互評価) ・自分なりに思いや願いをもち、改良しようとしている。 (発言・つぶやき・カード) ・友達に工夫したところを伝えたり、教えてもらったりして自分なりに工夫してつくったり遊んだりしようとしている。 (発言・行動・つぶやき)

2 つくったおもちゃであそぼう(4)	〔小単元の目標〕 自分たちがつくったおもちゃで、遊び方やルールを工夫しながら、みんなと遊びを楽しむことができる。 ○おもちゃの紹介をし、みんなであそぶ。(1) ○遊んでいる中でこまったことや改善したことはないか話し合う。(1) ○友達のつくったうごくおもちゃでさらに遊んで楽しむ。(2) 知・技 ③ 知・技 ③ 思・判・表 ④ 態 ④ 態 ⑤ ・おもちゃを改良したり、遊びの約束ルールを工夫したりすると、友達と楽しく遊べることの楽しさに気付いている。 (発言・つぶやき) ・遊びを工夫したり、みんなで楽しく遊んだりできる自分たちのよさに気付いている。 (カード・発言) ・動くおもちゃについて、楽しい遊び方を考えながら、それを絵や文で表現している。 (行動・カード) ・おもちゃで遊ぶことについて、友達と関わったり、よりよい遊びやルールを創り出したりして、おもちゃを楽しくしようとしている。 (行動) ・みんなと楽しく遊ぶ際、道具や用具の片付け、掃除、整理整頓をしている。(行動)
3 おもちゃ大会をしよう(おもちゃランドへようこそ)(7)	〔小単元の目標〕 招待したい相手(1年生)を想像し、おもちゃ大会(おもちゃランド)を楽しんでもらうためには何ができるのか考えて活動を計画し、場を作ったり運営したりする。 ○「おもちゃランド」に向けて話し合う。(2) ○1年生も楽しめるようにおもちゃを工夫する。(2) ○1年生を招待して「おもちゃランド」を開く。(2) ○1年生を招待した「おもちゃランド」について振り返る(1) 思・判・表 ⑤ 知・技 ④ 思・判・表 ⑤ 知・技 ④ 態 ⑥ 態 ⑥ ・おもちゃ大会(おもちゃランド)に向けて、約束やルールを考えたり、相手に合わせておもちゃやルールを考えたりしている。 (行動・つぶやき・カード・作品) ・「おもちゃランド」での楽しさやおもちゃや遊びの工夫をしたことで相手を楽しませることができていることに気付いている。 (つぶやき・カード・発言) ・遊びに来てくれた人に遊び方やルールの説明をしている。(行動・つぶやき) ・みんなと一緒に遊ぶと楽しいことや自分のつくったおもちゃで楽しんでもらえることに気付いている。(行動・つぶやき・カード) ・1年生の友達と関わったり、相手のことを考えながら行動したりして楽しく遊ぼうとしている。 (行動・つぶやき) ・みんなで遊んだことを振り返ったり話し合ったりしようとしている。 (発言・つぶやき・カード)

6 本時の学習指導(13/18)

(1) 目標

1年生の立場を想像したり、クラス内での活動を振り返ったりすることを通して、相手によって遊び方を工夫することの大切さに気づき、1年生が楽しめる「おもちゃランド」について話し合うことができる。

(2) 展開

児童の活動・意識	評価(●)と支援(○)	時間
1 前時を想起する。 ・1年生をしょうたいして「おもちゃランド」をひらく。	○自分たちのおもちゃを使って「おもちゃランド」を開くことを確認する。	5分
2 本時の課題を知る。 ・1年生のためにがんばらないと。	1年生が楽しめるような「おもちゃランド」を考えよう。	
3 話合いの方向性を決める。 ・ルールをかえたほうがいいかな。 ・遊び方を簡単にしようかな。 ・安全に使えるようにおもちゃを工夫したほうがいいかな。	○全体でどのように話し合うかを共通理解する。 ○自分たちで遊ぶときと異なり、1年生のためにということを意識させる。	10分
4 グループごとに、「にっこにこ会議」を行い、おもちゃについて話し合う。 ・説明する看板はひらがなにするか読み仮名を書いた方がいいよね。 ・おもちゃを丈夫にしたらいいいかな。 ・危ないところをしっかりと隠そうか。 ・ルールをやさしくしよう。	○グループで話し合うことで、考えを広げたり深めたりできるようにする。 ○相手は何ができて何がまだできないのかなど、相手の立場になって考えられるようにする。 ○話し合ったことを整理するために、紙などに記入させる。 ○グループを周りながら声かけをしたり、よいつぶやきを全体に広めたりする。 ●「おもちゃランド」に向けて、約束やルールを考えたり、1年生に合わせておもちゃやルールを考えたりしている。 【思・判・表－⑤】(行動・つぶやき・カード) 具体的な児童の姿 ・約束やルールを変えようと考えている。 (つぶやき・カード) ・1年生に合わせて、おもちゃに工夫をしようとしている。 (つぶやき・カード) ・グループの友達と意見を出し合いながら話している。 (つぶやき・カード・行動)	15分

